

昭和31年6月18日第3種郵便物認可
毎月1回1日発行
定価1部15円
印刷所 田辺印刷株式会社
上田市原町 TEL1492

千曲会報

編集兼発行人 小林 尚一
発行所 社団法人 千曲会
長野県上田市常入信州大学繊維学部内
振替 長野 6243・東京43341
電話 上田1215(代表)1218(直通)

家蚕の栄養がその就眠性に及ぼす影響に関する研究

農林省蚕糸試験場技官 農学博士 竹内 好 武

この研究論文の著者竹内好武氏(蚕23)は、現在前橋市の農林省蚕糸試験場技官として、育蚕に関する研究に没頭されているが、蚕の飼料としての桑質判定に生物学的方法を創案し育蚕学会に大きい貢献をして来られたが、昭和35年には岸賞を受賞され、昨昭和37年春には農学博士の学位をえられた。この研究は昆虫生理学の面からも価値高く、興味ある問題であるとともに、応用面では育蚕技術部門からも極めて高く評価され多くの研究者、技術者に広く利用されているので茲に学位論文要旨を紹介する次第である。(山口記)

蚕の栄養と发育および健康度の関係を明らかにしようとする場合に、結繭化蛹までの死亡率や経過時間その他をしらべる方法では、飼育中に介入する種々の要素を除き得たとしても、蚕自体が持つ強い回復力のために、与えた栄養条件に対する蚕の反応を的確につかみにくい。よって幼虫の全期間に重きをおかず、各齢毎の发育状態を細かく観ることに重点を置いて、その指標として、蚕の就眠または営繭化蛹能力をとりあげて研究を進めた。その結果蚕が就眠しうる減食の限界、各種不良栄養条件と蚕の就眠能力、ならびにその後の发育、環境、とくに光条件と就眠能力発現との関係、飼料の差異と就眠能力発現の早晚などについて解析を加え、さらにそれらを基として新たに生物学的葉質判定法を創定した。

研究の内容は二つに分けて報告したがその概要はつぎの通りである。

第1編では栄養条件と蚕の就眠反応の関係を記述した。すなわち蚕はその単一齢において極端に減食してもそれがある限度(例えば1齢蚕では28℃で1日1回2時間だけの食桑に制限する)内であれば、経過時間は非常に長くなるが、就眠しうる能力があり、就眠した個体(上記の例で30%弱)をその後普通に飼育すると概ね正常に发育する。単一齢における減食に対する蚕の就眠反応は減食方法によって異なる。齢のはじめから、そのおよそ半ばまでで食桑を止める方法の場合には眠蚕体重は大変軽いが、就眠までの経過時間は正常の場合とあまり差異がなく、その後の发育も概ね良好であるのに反し、減食方法を毎日の食桑時間で制限する場合には眠蚕体重は正常に近いが、就眠までの経過時間が極めて長く、その後の发育において死亡率が高い。齢の半ば頃で食桑を止めた場合の就眠能力の発現は絶食中の光線の有無によって大差があり、1～4齢の各齢期では約2ルクス以下の暗は明よりも就眠歩合が驚くほど高い。しかるに5齢期は明暗による差異が不明瞭か、あるいは逆に明の方が暗より営繭化蛹歩合がやや高い傾向を示す。蚕が齢のはじめから一定時間だけ食桑して獲得する就眠または営繭化蛹能力の程度は桑葉々質によって顕著な差異を示し、それは就眠するまで普通に食桑させた場合の发育速度によって判断される葉質の優劣を拡大して表現する。そして葉質に対する1齢蚕の就眠反応と2～5

齢の各齢蚕のそれとは同じ傾向を示す。また各種栄養条件のもとで发育してきた蚕のある齢において齢のはじめから一定時間だけ同桑葉を摂食させた場合の就眠または営繭化蛹能力の程度は、それまでおかれた栄養条件の良否の程度に応じた差異を示し、それは发育速度や体重から判断される蚕の发育の良否を拡大して表現する。

これらの結果により、眠は蚕の发育における重要な階程であって、蚕が基本的に栄養(摂食)を必要とする時期は各齢とも就眠または営繭化蛹能力を発現する臨界期までであり、その間における葉質に対する就眠反応は栄養条件に基づく蚕の发育反応を拡大して表現するとの見解のもとに就眠性利用による葉質判定法を着想してその具体的方法を創定した。

第2編では「蚕の就眠性利用による葉質判定法」すなわち大

まかに言って現行交雑種の蠶蚕に28℃で約40時間内外食桑させてその就眠歩合をしらべ、その高低によって飼料価値の優劣を比較判定することに関係した諸要素の分析結果を記述した。すなわち飼料価値に優劣ありとされている異なる飼料を齢のはじめから一定時間だけ食下させた場合に供試蚕に何れの齢の起蚕を用いても、飼料価値の優れたものの就眠(または化蛹)歩合は、劣る飼料のそれよりも明らかに高く現われ、就眠歩合の高低には蚕の乾物消化量の多少が重要なものの一つとして関与している。この葉質判定法による飼料の優劣と実際の飼育成績との関係において、蚕の发育の遅速と繭重および繭層重の軽重がつよい関連性を示し、蚕の死亡率も関連的傾向を示すことを明らかにし、この葉質判定法の意義を裏づけた。ついで判定に供用する蠶蚕そのものの各種性状と就眠能力発現との関係を分析し、同一蚕品種であっても越年種、即時人工孵化種および冷蔵浸酸種の別、およびそれらの催育温度の高低別、交雑種の母体別ならびに品種によっては性別によっても、一定時間だけ食桑させた場合の1齢蚕の就眠能力発現に著しい差異のあることを明らかにし、この葉質判定法の適用範囲と供用蠶蚕採取上の注意事項を指摘した。

以上のようにこの研究は蚕の就眠性と栄養条件との関係に立脚し、応用面として簡易でしかも鋭敏な生物学的葉質判定法を案出したものであって、葉質判定の手取り早い方法として蚕桑の実場面や研究面に利用の道が多々あるものと考え



新入学生歓迎 レクリエーション 長野県体育館

貞明皇后記念蚕糸技術賞

山崎 寿・岡村 源一両氏受賞

大日本蚕糸会では、総裁高松宮殿下をお迎えし5月9日蚕糸会館ホールにおいて蚕糸功労者表彰式を盛大に挙行された。この席上総裁宮殿下から、貞明皇后記念蚕糸技術賞が山崎寿氏(蚕14)岡村源一氏(蚕6)にご贈与された。

山崎氏の受賞研究は“伝染性F型軟化病に関する研究”で氏は長野県下における集団産作の実態調査を行った結果、従来非伝染性と言われた軟化病の中には、伝染性のものが含まれていることを洞察し、この病気の潜伏期間、病状、起病力の強弱、継代接種、病蚕の組織別起病力の差異、異種昆虫に対する病原性の差異、本病の誘発、病蚕組織の電子顕微鏡的観察等の実験を行い、本病がウィルス性疾患であることを証明した。

また起病性因子の不活性化、養蚕家の実地消毒等を行ない養蚕上最も重要問題の一つである軟化病防除に対し多大の貢献をなした。

岡村源一氏外1名の研究は“赤外線煮繭に関する研究”でこの研究は煮繭工程中において赤外線を照射し、赤外線に対し比較的透明な繭層を赤外線が透過して繭層の各部位に均一直接吸収され、繭層の内外層を均等に煮熟出来るようにすることに成功したものである。

化学科の窓から

大 屋 正 尚

3月末に学生と一緒に工場見学に九州まで行った。最初私はあまり乗気でなかった。と言うのは工場から離れて未だ3年にもならない工場は色々見えていたからである。名古屋で夜が明けた。東海道線に乗り換えて間もなく某ビール会社の新工場が見えた。ああやっぱり来てよかったかな? 確か私が当地を去り母校に赴任する頃は鉄筋がぼつぼつ立ち始めた頃だった。きっと工場も新しく生まれ変わっているだろう機械もそして人間関係も、やはりそうだった。オートメ化された工場、計器の前で人が座ってじっと見つめていた。ブザーが鳴った。一人が立って行ってスイッチを切換していた。私が卒業した頃は肉体労働をしないのは罪悪(非能率賛礼)の遺風が残っていた。座って見ている等はもってのほか……の時代だった。もう十数年になる。

工場の一角にショウウキンドウがあった。

寮内の労務課の人に「人事管理も大変ですね」と云ったら「いや働く人に、自分はどんな物を作りそれがどんなに使われるか知らせることにより仕事に張りを持たせ、それによって能力を太くに発揮してもらいます。このような世の中になると特定の人がいくら力があってもだめですね。出来るだけ多くの人、いや全員が全力を尽して……結局それが個人々々のためになる最大の手段でしょう」と。

或社では今迄の露骨の学歴差は改めて能力のある人はどんな伸す人事管理方式を徹底してやるようにすると云ってい

た。

前月号に記したある日本化学会技術賞を受賞された六川忠一郎氏の手紙の中に、この賞は一人がしたのではなく、社長以下工員に至る全員が一致協力して……の言からも分る通り勤評の方法が問題になっているのだな……と帰ってからしみじみ分った。

力強さが感じられた、自由化の嵐はきびしくてもきつと全員の力で乗切ることだろう。

各所で先輩、同僚、後輩、の歓迎を受けた。

会食を伴にしよい気雄になった頃、学部に対する批評を拝聴した。勿論よいことも多くあったが痛い事も云われた。甚しいのは、卒業生(恐らくごく一部のだろう)を評し、麻雀は強いが化学に弱い、とか、研究能力に欠けるとか、専門の常識がないとか……きつと入った者は卒業させねばならぬと云う考え方や、卒論が比較的ルーズなことによることや、基礎が重要ということも基礎以外必要ないと云うことと混同していることによるものだろうと思った。もっとも落して無用の摩擦させるより全員優にしてこちらは自分の研究でも一生懸命の方が徳かも知れない。帰りに東京の日本化学会へ廻って上田へ帰った。上田へ来てから外へ出る機会(遊びにでなくて)に恵まれないのでつい井の中の蛙になる。その意味で非常にためになった。特に大学という厚い壁の室に居る私にとってはそうだった。帰って早速雑誌I. E. C.を開いた。4月から始める予定の化学科助手4名で行なう外国誌紹介のためだ。

私がI. E. C.と三石……J. S. D. C. 矢野沢 J. Polym. Sci.

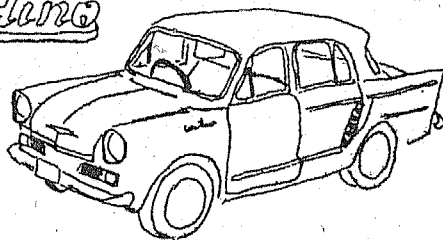
小笠原 J. A. C. S. と云うように一人二種分担して、週一回夜集って討議する……これは学生の卒論、実験は実質的に我々がやるのだし、こちらも広い知識がなくては学生に済まぬ、又その時実験の連絡もするという目的だ。時間外に行なうのは、もし助手はそんなこと(研究や勉強)する必要ないと云われた時に時間外なら大丈夫と云うこと。時間中は忙しいと云う理由による。長野に住居をもつ小笠原君に気の毒だが……独身だからまあ……。

ボタンから無水マレイン酸を製造する報文があった。今までベンゼンから造ると思っていた。これで石油分解で余るボタンが有効に利用され他のもののコストが低下するだろう。

全くばやばやしてられない。先輩、後輩の皆様大いに頑張りましょう。又何れ宜しく。

今人気の コンテッサ ノー 乗 用 車

Hino



日野自動車代理店

菅沼モーター工業株式会社
上田市常入908 電話(上田)1914

さ ろ ん

「惑える羊のさびしさ」について

僕はこの間教義の“惑う会”で日光へ旅行しました。あさ4時半に起きて上田駅へ行きました。その前晩前夜祭で夜おそくまでさわぎましたので僕は大変ねむかったのです。池尾さんがたくさんのゆで卵を持って来ましたので一つくれと云ったらだま一つくれました。「宮坂さんが来なかったのは彼はウィルソン大統領になっちゃった」と言って笑いました。高崎でディーゼルに乗換えてからは列車の中のガイドは池田さんです。車窓から山々の面白い姿を眺めながら萩原朔太郎の詩や、国定忠治の話や足尾銅山の飲毒事件のことやいろいろの話をききました。桐生の人口が6万だと池田さんが話したら、今乗って来たばかりの紳士が「いや桐生は12万だ」と強い語気でかえしましたので池田さんが笑って「すみません」と云ったので、みんなどっと笑いました。多分その紳士は桐生市をのぼす会の人だろうと思いました。栃木で電車に乗換えました。途中「合戦場」という駅がありました。僕は何かの古戦場かときいたら哲学者が、「ここは昔遊廓のあったところでね」と説明したので僕は無理になるほどと思いました。やがて日光へついて湯元までバスで乗って、それから又バックして華嚴の滝を見ました。夜鬼怒川温泉へ行きました。夜、町へ散歩したら、町のアンちゃんが町角で「実演と映画」はいかがですかと何回も言い寄って来ました。ドイツ語が「どんな実演かね」と質問していましたので、僕はやめておけばいいのと思いました。宿へ帰ってから釜沢さんと一局碁を打ちましたが疲れて来たので「釜沢さんもうねませんか」といいました。するとドイツ語がトランプをやろうといいましたので急に元気が出て来ました。釜沢さんには悪いと思ったけど、僕がみんなにポーカーを教えて、結局大体において僕が巻上げました。みんなと云っても“道徳教育”だけはさすがに早くねてしまいました。翌朝東照宮へ行きました。一之瀬さんが遠藤さんの、僕が青木さんの重い荷物をひき上げて歩きましたら、疲れてきましたので預り所へ預けました。東照宮は金銀がちりばめてありますが、全くつまら

ない所でした。拝観料 200円出すのは僕はいやだと云いましたら、会長の恭子さんが困った顔をしたので皆につけ合うことにしました。見猿・きか猿・云々猿の3匹の猿の彫刻がありましたが、それを見たときにこん畜生と思いました。スタンダードが自分の碑にほりこんだ文句を思い出して、やっぱりこの方が性に合うなと思いました。大勢の人の中でみんなとはぐれてしまったので、切符を放って預り所に帰って、そこで一寝入りしました。帰りの汽車の中で一之瀬さんが週間朝日をかしてくれました。或大学では教授会がなくてもいいという声があると書いてありましたので、どこも同じだなと思いました。上田駅へついたらみんな電車やタクシーで居なくなっていました。僕はヴェトナムの水牛のパイプに火をつけて狐りで夜道をぼそぼそとかえりました。何にもみやげがないのは可愛そうだと思って、長崎屋でまんじゅう3つを買いました。家へ帰ったら女房が「面白かった？」とききました。多分僕は「うん」といったでしょう。彼女はまんじゅうを3つともくって先にねました。僕も仕方ないので渋い茶を一杯かみしました。こういう時はいつでもこういうように矛盾は静かに深まって行きます。なるほど……そして僕もねました。(Z・K生)

上 田 市 の 初 印 象

村 上 尚

“残雪に嶺も輝かし斜交山”
私達一家は此のような春未だ遠い東北の一小都市米沢を後に、上田に来たのはつい此の間四月のことである。未だ日が浅く県内と云わず市内でも殆ど見物してないので数々の名所を見ずに印象は語れないが、初印象も後で上田馴れをしてから読み返すのも一興と思い書く気になった。幸に市役所製の上田市内地図を手に入れた後で人文社のも買入れ、持参のバイクで一応不便の無い程度に土地案内を覚えた。持前のこだわらない性質が影響して子供達も環境に直ぐ馴れて今頃は生活に根を下すことが出来るまでになった。上田市は何と云っても市内を流れる千曲川の清流が印象的だ。私は京都では賀茂川、米沢では最上川上流の松川に接したが、それらは工場の排水や飲毒の為に魚

の生棲を自由には許さない川である。魚のいない川は何処か味気ない雰囲気をもっているが、千曲川は本当に自然を感じることがある。一日千曲川に釣糸をたれしていると大公望よりは俗気充分だがそれでも本当に気持ちよい終日を過すことが出来る。尤も乾燥しているせいか体内に液体を入れないともたないが。

もたないと云えば道路が狭いのに驚く。私が肥えているせい許りではなからう。あの狭い商店街に横道と主道とに拘らず、自動車が我物顔に駐車しておりその間をぬってトラック、自転車は遠慮もせずに通っている(私のバイクもその通り)。若し京都の京極通りに車が通ったらと想像してもぞっとするようなことが現実にならなくて行なわれている。早く我々技術者の手で伸縮自由自在で何処でも曲りくねって行けるような自動車を作らなければ、此ならごめんさいと柔かい雰囲気になるだろう。

その商店街だが商店の休日は一体どうなっているのだろう。何時行っても必ず何処かが休んでいる。華かな商店街に汚点を作るようにまばらに戸が閉まっている。あれでも各店から見れば一週一度の休日が正しくあり、店員さんはそれでちゃんとした日課週課が立てられているだろう。それにしても横の連絡はどうなっているのだろう。普通は百貨店に対抗するために商店同志が集団政策をとり相互の因果関係をうまく利用して客にサービスしているのに、あれでは恐らく百貨店・スーパーマーケットに客は吸い寄せられるのは自然の成行だ。マーケットが安い許りではないだろう。いらぬ心配をする必要はないがお客が少ない、従って品物が高くなる式の悪循環はただけでない。何か自由をはき違えているのではないかと疑いたくなる。百貨店が火曜なら一般商店街は木曜とかにすればよいのに、そうすれば店員さん相互にしてもしっくり行くかもしれない。勿も問屋の休日の関係もあるが。お客に“各店の休日を覚える”と云うのは城下町の商店らしい現象で面白いが。

家の裏に国道バイパスが横たわっている。快走する東京行終夜トラックの力強い生産的轟きは長野県の意欲を感じ痛快である。国道はよい道だ。家から中心街にはバスが十分おきに通っている。此は便利だ。米沢では山形交通の独専事業でバスは1時間1本位の割合で、それも時間がさだかでない。私も6年間住んで居

てさあ10回位は乗ったか、試験的にでも20分おきに走らして見たら客と車の調和が取れるかもしれないのにと何時も思ったが。上田ではもう米沢の6年分は乗った。でも欲を云えば駅を折返し上田城近く迄走ればなと考える。

上田城は歴史に有名な真田の居城であるから藤村の古城と共に上田市が誇りとして、真田の往年を偲ぶ雰囲気を持つものと考えていた。米沢の上杉・京都の御所と同じように。行って見ると成程往年の櫓や遺品が保存され真田神社もあり米沢城のそれとは比べものにならない規模と実物をもっているが、櫓の隣は洋風の庭園があり又目下鉄筋コンクリートの市民会館も建築中でおまけに強共の夢の跡である堀の水を抜いて私鉄電車が走っている。文字どおり和洋折衷の風景で此以上のものはない位念が入っている。此を見て信州の人の一面をまざまざと見せつけられたような気がした。そこには微塵の感傷も情もない唯現実あるのみでそれに生きようとする姿。

上田は今生まれ代ろうとしている、製糸で栄えた町が時代の流れと共に新しい産業市に切換えられようとしている息吹きが感ぜられる。市制50年、発足人口約4万、現在人口旧市で約5万と聞く50年を経て殆ど変わらない人口が物語る消極性が此から変わるのだ。然し積極性のはき違えが無ければ。

新 任 換 拶

田 中 博 正

私は5年半の研究所生活を経て、本年4月から本学部に御世話になり、一般教養の心理学と教職教養の教育心理学なら

びに青年心理学を担当させて戴いております。

従来、私は学習とか思考の問題に関心をもち、特に、それらの領域での精神的構えという要因の条件分析的研究を行って参りました。

今後はこの種の研究を他の領域にも少しずつ拡大していきたいと思っております。

当地は空気が乾燥していて、思索に適しているようですし、皆様方の御指導を戴き、いままでの道をこれからも歩いていきたいと思っております。

どうぞ宜敷く御願いたします。

「愛」へのたわごと

—新任のあいさつにかえて—

高 橋 規 矩

プラトンの「饗宴」という対話篇で、愛について、アリストパーネスは、人間には、むかしは性の区別がなかったのだが、ジュピターがこれを二分したために男女の別が生じたのであって、男女は以前の完全な姿にもどりたくて、他の半身を求めて、互いに慕い焦がれる—この思慕の情が愛だと説いているそうです。このことが本當に何を意味しているのか、古典に通じない私には、よくのみこめないのですが、一つだけ言えることは、愛というのは、ギリシャ語では、エロースというのだということです。それから派生した英語の形容詞から、現代の私達はジャーナリスティックな、何か妙な連想を起してしまうようになってしまったけれども、芸術の世界では、幽遠な清純な理想を表わす大切な言葉であることには今も変りないでしょう。アリストパー

ネスは兎も角として、これは、むかし、ひたすらプシケーを求めた美少年キュービッドの神話となり、また、中世騎士道の時代には、淑女のために献身修業する騎士達のロマンスの数々を産み出したりしております。夜毎ヘレスポイントの海を泳ぎわたり、恋人同志が密会するヒヤローとレアンダーの哀歌は、牽牛と織女の昔話に似た、人知れぬ一種の郷愁を覚え深い共感をもって、かつて、読み、また聴いたこともあるのですが、ひとたび、話が、現実の問題になって、たとえば、人間は、不完全ならば、半身なる他の異性を如何にして求めるべきか、また、二三の民間会社なり、学校なり、東西両陣営なりが、しかるべき合併や統合や和解を早期に実現するには如何にせん、とかいうことになる、なかなか容易な業ではないことが、次第に分ってくるのです。気持ちの上では、何とか理想的な完全なる姿にもどりたくて切に感じはしてはみるものの、理性はそれがたまたま若い男女の場合であったとしても、育ちや趣味が違い過ぎるとか、どうも妥協の線を見出しはくれないのです。

あれやこれやと思ひめぐらすと、人間は始め男女で完全なる一体をなしていたなどとは、どうしても考える気にはなりません。そして、エロースだの、芸術だの、真面目くさって口にするなんて、本當におかしくって、／＼という風になってしまふようなのです。

専攻——イギリス浪漫主義文学論の思想的背景

趣味——園芸(バラ・キク)、昆虫(蝶)採集、切手蒐集、魚釣

スポーツ——水泳など。
よろしくお願い致します

信州大学繊維学部助教授 宮 坂 正 治 著

地 域 経 済 の 構 造 と 計 画

A5判クロース装製本

昭和38年6月5日発行

定 価 1,200円

284ページ+折込表(4ページ大)8

内 容

第Ⅰ部 地域経済の構造

—その基本問題—

- 第1章 村の土地・労働・資本の限界生産力の地域性
—長野県小県郡神川村の事例—
- 第2章 村落の水と産業立地
—長野県小県郡塩田平小島部落の事例—
- 第3章 地方都市の工業構造変質と企業者・資本
—松本市の事例—
- 第4章 地方都市の戦後における生活水準
—松本市の事例—
- 第5章 わが国蚕糸業の地域構造
—繭生産を中心として—

- 第6章 地域科学としての空間経済の理論
【そのⅠ】 不完全競争市場と供給量決定
—【そのⅡ】の理解のために—
- 【そのⅡ】 不完全競争市場と工業立地政策
—不完全複占—

第Ⅱ部 地域経済の計画

- 産業連関分析—
- 第1章 地域経済計画の性格
- 第2章 地域産業連関論
- 第3章 地域産業連関表
—長野県：その作成経過と結果—
- 第4章 地域経済計画の編成
—長野県の事例—

発 行 所 東京都千代田区神田駿河台2の10
申 込 先 最寄の書店もしくは上田市常入500

古 今 書 院
信州大学繊維学部宮坂研究室

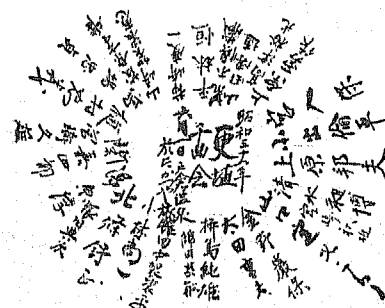
支 会 だ よ り

更 埴 支 会 総 会 報 告

馬 場 忠 貞

新緑に薫る6月1日(土)午後3時から戸倉温泉高津屋旅館において本会より理事山口定次郎先生、小林尚一先生、北条舒正先生を迎え本年度の総会が開かれた。支会事務局よりの経過報告、会計報告に続いて山口先生より母校の近況、千曲会の近況について、小林先生より千曲会報について、北条先生より上田繊維科学振興会についてそれぞれ詳細なお話があり、引続き選衡委員により新役員の選衡が行われ会議を終了した。

会議終了後懇親会に入り支会長茂原重雄氏の挨拶、選衡委員長荒木慎蔵氏より



新役員の発表、新支会長塚田典次氏(前坂城町長)の挨拶があり宴会となった。尚茂原重雄氏は長らく更埴支会のため支会長として御尽力されたが先般長野市へ移られたので、氏の送別会も兼ねて行われた。27名の特徴のある自己紹介が特に興をそえたが、宴酣となった頃山口先生の音頭で更埴支会の万才が三唱され、又新支会長塚田典次氏の音頭で来賓各位の万才三唱、続いて再び宴会が続き一同和気あいあいの内に歓談し、久方ぶりに有意義な時を過し、午後8時30分再会を約し散会した。

尚本総会は高津屋旅館主高津裕光氏(学蚕1)の御好意により盛大に開催出来た

ことを附記し感謝の意を表します。

当日の出席者及び新役員は次の通りです。

出席者

金野 巖保(糸12) 関 嘉四郎(糸14)
樋口 忠義(蚕14) 宮崎 秋雄(蚕15)
湯原 諄(紡7) 茂原 茂雄(糸17)
荒木 慎蔵(糸18) 宮入 保(蚕20)
塚田 典次(蚕25) 田中袈裟平(蚕28)
綿田 英敏(糸32) 馬場 忠貞(蚕34)
小出 倫平(紡26) 柳島 純雄(農1)
上原 邦夫(紡27) 山崎袈裟恵(蚕36)
清水 勝郎(糸37) 柿崎 慶一(農4)
山田 博通(蚕38) 高津裕光(学蚕1)
上原勇作(学蚕4) 清水稔博(学蚕4)
宮崎久雄(学蚕5) 平林 恒(学蚕6)
太田 重夫(学蚕7)

役員

○支 会 長 塚田典次
○副支会長 金野巖保、宮入 保
○幹 事 長 清水勝郎
○幹 事

坂城地区 児玉信孝、中曾根悦夫
宮崎久雄

戸倉地区 塚田光行

屋代地区 馬場忠貞、柿崎慶一

屋代地区学校関係 堀内由雄

稲荷山地区 小出倫平

松代地区 村本一郎、寺田 良

塩崎地区 山崎袈裟恵

西山地区 上原邦人

篠ノ井地区 清水勝郎

篠ノ井地区学校関係 柳島純雄

及び北部

女子会員山口久子

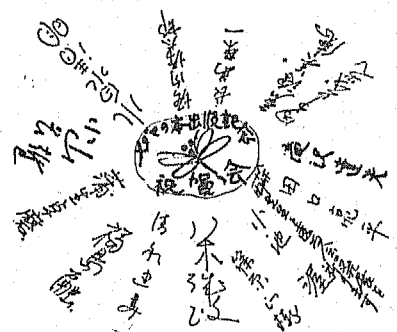
○代議員 塚田典次

○支会連絡事務所 長野県楠検定所篠ノ井支所(篠ノ井市御所川 清水勝郎)

「鱗翅目昆虫の複眼」出版祝会賀

現東京農大教授八木誠政先生および当学部小山長雄先生には、このたび昭和37年度文部省出版助成費の援助(44万円)をうけて、過去25年間の研究の集大成ともいふべき、「The Compound Eye of

Lepidoptera」(鱗翅目昆虫の複眼の研究)なる快著をものされました。この出版を記念する会が両先生の招待により5月19日午後2時より、別所温泉柏屋本店で開催されました。つどうものはこの研究および出版に関係されたかたたちおよび生物学教室の出身者で、東京から群馬からと集まってくださり、計14名となりました。湯気になごやんだ和気あいあい



のうちに、研究苦心談、学部将来、個人問題など、好み好みに話題は展開して終了したのは8時を廻っていました。

この複眼の本は、心血をそそがれたというだけあって、たんにすぐれたというだけでなく、なんとなく、芸術品をみるような趣きがあります。ただただわれわれは敬服するばかりでした。

ついでながら、本はつぎのようなものです。

題名: The Compound Eye of Lepidoptera Approach from Organic Evolution,

内容: 鱗翅目昆虫の複眼の外部形態・内部形態・偽瞳孔・各種複眼の形態と系統関係・後胚子発生・複眼色素の移動・複眼構造と活動性・視覚などからなる。

仕様: B5判, 英文9ポ, PP320, 図286, 全頁アート紙使用, クロス美装幀,

生物蚕学関係に従事される研究者、先生、学生はぜひ一読される必要があると思います。(滝沢達夫)

皆様のご相談相手

日本工業規格表示許可工場

北十二銀行

日本石綿紡織株式会社

本社 長野市三輪本郷

TEL (2)6275(3)0093

本 会 記 事

理 事 会 開 催

5月7日千曲会館において、理事会開催。出席者は小泉学部長、荻原理事長、蒲生、林、野口各顧問、宮城相談役、評議員代表土屋茂一郎、中島暹、山口定次郎、田口亮平、北条舒正、和田晋、小林尚一、杉山一雄、萩野喜次、松尾卓見、白井美明、町田博、関博夫、青沼茂、竹内善吾、遠藤恒久、大屋正尚、川上保人の各理事。議題は信州大学一般教養課程の統合問題について協議した。小泉学部長より詳細な教養課程の統合問題の経過報告があり、出席者から情報交換、質疑があった。

この問題は信州大学創立各学長就任の都度提案されているが、今回も現三村学長が熱心に統合を推進しているが、地域の問題その他数多い検討すべき問題を包蔵している状態である。結論としては学部当局を信頼おまかせして現段階では本会は政治的には動くときでないことに決定、出来るだけ早く大学院(修士課程)を設置するような対策をたてるよう意見があった。

林清市氏岡谷商工会議所会頭に就任

マルヤス産業株式会社社長林清市氏(糸19)は岡谷商工会議所議員総会において会頭に選出され就任した。任期は昭和40年5月まで2ヶ年。

池田滋氏(蚕32)第7回ILO
繊維委員会に出席

郡是製糸株式会社に勤務の池田氏はジュネーブに開催の第7回ILO繊維委員会にILO労働者関係委員として出席することになった。会議は5月6日より17日まで催される。なお池田氏はドイツを初めヨーロッパ繊維事情を視察して帰国する。

母 校 ニ ュ ー ス

学 内 人 事

○5月1日付黒岩茂隆助教授は、信州大学教授(繊維学部繊維化学工学科)に昇任された。

○財団法人野間研究所員田中博正氏は、4月20日付信州大学講師(繊維学部)に発令され、教育、青年心理を担当される。

○愛知学院大学高橋規矩講師は5月1日付信州大学繊維学部講師に配置換え、英語を担当される。

○38年度文部省内地留学決定

38年度文部省内地研究員として加藤泰正助教授は東京大学農学部、坂口育三助教授は東京大学工学部に、また隅田研究室の滝沢俊治助手は京都大学工学部に留学することになった。滞在は5月から2月まで10ヶ月間である。

○清水建孝講師、中華民国へ出張

清水建孝講師は、台湾高山植物、特に繭繖植物の研究と台湾藻学会指導のため6月より9月初めまで中華民国へ出張することに決定した。

小柴善一郎先生全国都道府県

イゴ大会長野県代表に決定

小柴善一郎助教授の囲碁は、素人流れをした5段の保持者で有名であるがこの度5月5日開催の全国都道府県対抗囲碁長野県代表地区戦において、長野県代表3名の一人として勝のこり、来る6月30日開催予定の日本棋院中部総本部(名古屋市の中部地区代表者決定戦に出場することに決定した。

教職員組合の新執行委員の分担決定

5月8日千曲会館において開催の繊維学部教職員組合執行委員会において、次のように事業分担が決定した。

総務部 部長 一之瀬匡典

部員 内藤 光男

桜井 善雄

厚生部 部長 矢彦沢清允

部員 香山 展重

文化部 部長 吉平 福紀

部員 大工原 建

小松 玲子

会計部 部長 白倉 一男

春蚕 掃立 初まる

春蚕の掃立が5月20日行われた。掃立数量は学術研究用、養蚕の機械化研究用学生実習用、等150万であった。養蚕の機械化研究については特に重点がおかれて研究が進められている。

新入学生歓迎レクリエーション

新緑の5月15日新入学生歓迎レクリエーションは霧ヶ峯行きに決定していた。生憎小雨であったが8台のロマンスカーを連ねて朝7時出発した。予定コース一部の変更をよきなくされたが、霧ヶ峯スロープでない長野県体育館で一同フォークダンスに興ずる一駒もあって、結団のびやかに各行事を楽しみ一同5時帰学した。

上田 繊維 科学 振興 会

研究 助成 委員会 開催

5月22日母校第1会議室において、上田繊維科学研究助成委員会が開催された。柳沢延房理事長、北条舒正副理事長および山崎寿、松尾卓見、呉祐吉、会田源作、小泉所各委員出席し、本年度研究助成は選考の結果次の3氏の研究課題に対し助成することに決定した。

桜井 善雄

○製糸工場および副産糸加工工場の排水による水質汚濁の実態およびその防止対策に関する調査研究

清水 建孝

○学内における繭繖植物園建設に対する植物学的寄與——特に台湾から熱帯繭繖植物の導入

後藤 春雄

○磷酸塩の構造

林 貞男

○部分ケン化ポリビニールアルコールに関する研究



オルガン
ミシン針

長野県小県郡塩田町

オルガン針株式会社

TEL 塩田 650

社 長 増 島 芳 美

伊 藤 武 男 先 生 退 職 記 念 募 金

前信州大学長、元繊維学部長伊藤武男先生退職記念募金下記のとおり募集いたします。奮って応募下さいませようお願いいたします。

期 限 昭和38年7月末

応募金額 1口 300円 口数ご随意

送 り 先 信大繊維学部千曲会内 伊藤先生退職記念会

伊藤武男先生退職記念会応募者

2,000円 佐藤 国一(蚕4) 川上保人(学化1)

1,000円 佐藤 良泰(信大) 片桐 康(学化4)

500円 土屋喜久雄(蚕専)

300円 小松 計一(化6) 兎東伴之(学糸8)

火災復興資金募集

母校火災復興資金募集の現況は5月31日現在申込人員1395名、3,178,400円となり募金目標額の54.8%になりました。会員各位の母校愛溢れる熱意に対し衷心より感謝申し上げます。

未だ申し込みをされない方におかれましても募金要項ご賛同の上格別のご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

募 金 要 項

募 金 目 標 額 5,800,000円

復興資金として
母校へ提供する金額 5,000,000円

拠 出 額 1口金 1,000円 1口以上

申 込 期 限 昭和38年6月末

千 曲 会 員 各 位

母校火災復興資金募集実行委員長

巢 山 喜 吉

社団法人千曲会理事長

荻 原 清 治

諏訪支会

5,000円 ○山本金之助(糸20) ○平沢和司男(糸24)

1,500円 ○小沢 実(学糸1)

1,000円 ○小林喜胤(糸別1) ○石井征夫(学糸3)

近畿支会

2,000円 ○坂口芳文(蚕21)

兵庫支会

2,000円 ○高橋 誠(糸13)

1,000円 ○堀入重雄(糸26) ○里 憲郎(紡26)

北九州支会

1,000円 ○江崎勇雄(蚕26)

小 計 30名 93,500円

累 計 1,395名 3,178,400円

火災復興資金申込後完納者氏名

10,000円 笠原義人(糸18・上小)
5,000円 猪瀬親二(蚕11・栃木) 水野義男(蚕22・栃木)
3,000円 江田重雄(化4・栃木) 山井千幸(糸16・諏訪)
安部 和(蚕13・福島)
2,000円 笠原重亀(糸12・福島) 金井 保(蚕34・福島)
水城孝男(蚕11・安筑) 中村 馨(蚕16・安筑)
中村孟夫(糸38・愛媛) 深迫 明(蚕16・熊本)
林田義雄(糸22・熊本) 原田正彬(糸22・熊本)
新野武雄(糸21・石川) 青木仁夫(学化8・愛知)
若林康男(蚕6・愛知) 児島郁郎(蚕33・愛知)
船田敏夫(蚕20・安筑) 倉沢一二三(蚕17・安筑)
二本猪一(蚕8・安筑) 渡辺正男(蚕20・安筑)
鈴木彦佐(蚕26・安筑) 吉越繁夫(糸22・安筑)
菊地六郎(蚕27・安筑) 河野太郎(蚕20・安筑)
碓氷 茂(紡3・東京) 石堂直記(学化5・近畿)
清水和博(学蚕4・更埴) 柳沢涵一(学紡3・三丹)
池田 滋(蚕32・三丹) 二森光雄(糸35・三丹)
山岸松治(糸3・三丹) 日崎正夫(蚕28・三丹)
森本 彰(蚕27・三丹) 西沢寛夫(化7・山陽)
河合 厚(学化2・山陽) 池内 鼎(学化4・山陽)
山崎光寿(化9・山陽) 清水達太郎(蚕1・千葉)
影山 剛(蚕33・茨城) 大工原卓(蚕36・茨城)
生天目久平(蚕25・茨城) 伊藤健(糸1・神奈川)
高橋英(糸21・神奈川) 高林弘(糸29・神奈川)
石塚敏夫(糸35・神奈川) 青木完造(紡21・三重)
大塚直人(紡26・三重) 山際明(学紡2・三重)
西沢善徳(紡27・三重) 宮沢安雄(紡26・三重)
小林英夫(学紡3・三重) 篠原大(学紡5・三重)
両角良介(学紡1・三重) 石川光也(糸別4・山形)
丸川真雄(蚕23・山形) 井上兵一郎(蚕12・山形)
関 茂(糸22・鹿児島) 鈴木茂(蚕22・鹿児島)
児玉新一(蚕24・鹿児島)

母校火災復興資金申込者氏名 (○印完納)

福 島 支 会

2,000円 ○鈴木忠雄(蚕32) ○岩下 功(紡22) ○大泉
英明(織農2) ○小池恭正(蚕31) ○小畑忠富
(糸26)

栃 木 支 会

1,000円 ○福田貴代子(養5)

千 葉 支 会

2,000円 ○野田太郎(糸18)

東 京 支 会

10,000円 ○西村武男(紡4)
7,000円 ○根岸只吉(紡4)
2,000円 ○宗像善敬(紡22) ○深井安児夫(糸28) ○田
中三夫(織農3) ○馬場 武(糸16・追加口)
1,000円 ○松岡竜雄(化6) ○松井憲二(糸18)

上 小 支 会

5,000円 和田 晋(糸12)
1,000円 ○田中甲二(化6)

北 信 支 会

15,000円 ○湯浅文雄(糸17)
10,000円 ○中島満展(紡20)
3,000円 ○井出喜四男(紡21)
1,000円 ○杉崎義明(糸34)


為替のご用は

はやくて たしかに

富士をご利用下さい

千曲会へのご送金は、当店宛の振替貯金
口座長野3523が一番ご便利です

上田市原町

皆様の  富士銀行上田支店

信州鹿教湯温泉

日観連会員 文 珠 荘
交通公社協定

TEL (西内) 3 5

会 員 動 静

長谷川浩三 紡 28 香 川 倉敷紡績(株)観音寺工場(観音寺市観音寺町2558)
中島 基雄 紡 29 近 畿 帝人(株)大阪本社(大阪市西区江戸堀1の53)
橋詰 厚夫 学化5 近 畿 同上
酒匂 景雄 蚕 22 鹿児島 鹿児島県立準人工業高校(鹿児島県姶良郡準人町)
手塚 望生 学蚕8 東 京 信越化学中央研究所
春日 敦美 蚕 37 埼 玉 東京都大田区入新井3の60
小野 昭夫 蚕 35 安 筑 有限会社春日製作所
竹井 建 学蚕6 北 信 埼玉県川口市芝塚越4738
中島 忠男 蚕 専 神奈川 片倉工業KK片倉普及団(松本市蚕玉町)(住)松本市四ッ谷1548
柳沢 六平 紡 16 近 畿 西脇商店(長野市上千歳町)(住)長野市栄町
山浦 菊 蚕別6 北海道 横浜市戸塚区平戸町1161
大原不二夫 糸 35 更 埴 呉羽紡績株式会社(大阪市東区本町2の28) 西宮市小松北町1の90社宅
迫 一雄 学蚕10 群 馬 北海道室蘭市132(木村方)
堀 岳人 蚕 37 山 梨 屋代東高校(更埴市屋代町)
小木 曾章 学蚕5 東 京 群馬蚕糸製造(株)(高崎市八島町115)
千曲社蚕種協同組合山梨出張所(山梨県東八代郡石和町822)
共立化学研究所技術部 埼玉県新座町野火止198(深井エ三郎方)

細田 明夫 学蚕7 愛 知 協和毛織(株)愛知県海部郡佐織町根高
宮坂 曉夫 学蚕6 更 埴 埴生高等学校(更埴市埴生町)
市川 道雄 蚕 37 上 小 旧姓牛山 塩田町中学校
近藤 常政 学蚕3 飯 高 上水内郡七二会村農業共済技術員(七二会村瀬脇)
依田 恒雄 学糸3 更 埴 篠ノ井高等学校(篠ノ井市)
半田 義雄 蚕 22 上 小 上田東高等学校(上田市)
横山 忠夫 蚕 22 上 小 小県東部高等学校(小県郡東部町田中)
市川 秀郎 農 3 上 小 小県東部高等学校(小県郡東部町田中)
小林 輝夫 蚕 21 北佐久 茅科高等学校(北佐久郡立科町)
小須田清雅 農 3 竜 川 飯田高等学校(飯田市)
上野 栄夫 紡 27 上 小 塩田中学校(塩田中五加)
小島 広彦 学蚕7 竜 川 下伊那蚕種協同組合 大竜社
飯田市座光寺5231(住)下伊那郡那那町)
岩岡 敏夫 学紡3 岐 阜 呉羽紡績(株)坂祝工場(岐阜県加茂郡坂祝町酒倉2079)
吉橋 俊夫 学紡7 愛 知 愛知県産業貿易航業務部調査課(名古屋市中区御幸本町1の18)(住)名古屋北区天道町1の1 志賀住宅30の102
山極 隆久 学化1 竜 川 長野県赤穂高校(駒ヶ根市)(住)駒ヶ根市ふじやま県営住宅10
飯島 莊資 学糸3 東 京 東京セロファン紙(株)(東京都足立区新田)(住)浦和市岸町8の204 福田荘

光学測定器と電気計測器

◎オリンパス光学工業製品

◎東亜電波工業製品

生 物 顕 微 鏡

分 析 用 機 器

金 属 顕 微 鏡

指 示 計 測 器

光 学 測 定 器

記 録 計

カ メ ラ

通 信 用 測 定 器

長 野 県 特 約 店



北信理化学有限公司

長 野 市 新 田 町 1500

T E L (2) 4 6 0 5 番

編 集 室 よ り

学部は繊維機械学科、化学工学科の新設に伴って先生も段々充実され誠に喜ばしいことです。本月は新任の先生にご多忙のところご寄稿いただきました。この上とも会員皆様の活動の様様随想趣味なんでも結構ですお寄せ下さるようお願いいたします。

うっとうしい梅雨期ご自愛活躍をお祈りします。

編集委員 小林尚一, 香山清和, 大屋正尚, 古平福紀
窪田 衛, 大工原建, 小山 定, 滝沢達夫
小林 勝, 白井要範

総合建設工事一式

土木建築アスファルト舗装 設計施工
上下水道衛生設備工事

長野県上田市大字常入682

株式会社 宮 下 組

T E L (上田) 271.2071